

■ 令和5年度 第9回 秋葉区自治協議会

日時：令和6年1月30日（火）午後1時30分

会場：秋葉区役所6階 601・602会議室

1 開会

（中島会長）

座ったままでよろしく申し上げます。新年明けての自治協議会ですが、明けましておめでとうございますという言葉がはばかれるような大きな地震が起こってしまいました。そこで、開会の挨拶をいただく前に、元日に起きました能登半島地震で被災された皆様にお見舞いを申し上げます。また、お亡くなりになった方々に対して1分間黙祷をささげたいと思います。では、皆様、ご起立をお願いいたします。黙祷。

（黙 祷）

黙祷を終わります。それでは、お座りください。

それでは、開会の挨拶を第2部会の坂井委員からお願いをいたします。

（坂井委員）

本日の開会の挨拶を仰せつかりました第2部会の坂井と申します。よろしくお願ひいたします。本来であれば、会長が言ったように新年早々の自治協ということで、おめでとうございますという開会の挨拶ですけれども、1月1日の能登半島地震を受けてということですので、そこは控えさせていただきまして、挨拶をさせていただきたいと思ひます。

1月1日に能登半島地震が発生しまして、秋葉区も震度5弱、ほかのところでは震度5強という大きな地震に見舞われたところです。私もちょうど自宅にいましたけれども、今までに感じたことのない揺れを感じまして、本当に地震が収まっても震えが止まらないような、そんな状態の中、職員の安否確認ということでちょっと手が震えながらの、携帯を持ちながらの安否確認をしたという、今回は新年早々の大きなこういった災害を経験したという年となってしまいました。

この大きな地震によりまして、西区におきまして液状化、また建物被害が出たということで、社会福祉協議会は、こうした甚大な被害が発生すると被災地と被災者主体による復旧、復興支援を目指す災害ボランティアセンターを立ち上げることとなります。西区においては、1月3日から災害ボランティアセンターを立ち上げることになりまして、平均して50人ほどのボランティアさんが日々災害ボランティアセンターに駆けつけて、

寒い中、被災者に寄り添ったボランティア活動をしていただいているところです。

私たち社会福祉協議会の職員も西区に交代で支援に入らせていただきまして、一緒に運営の支援をさせていただいております。なお、災害ボランティアセンターの運営におきましても当然職員だけでは賄えないということで、日本防災士会の新潟県支部の方や青年会議所、日赤奉仕団が救護を支援し、技術系としてひのきしん隊、DR Tの皆さんが手伝いに来てくださって、災害ボランティアセンターを運営しているというのが現状です。

いつ秋葉区に起きるか分からないこの災害に備えまして、社会福祉協議会におきましても年に1回関係者の方々に集まっていただいて、平時から顔の見える関係性を築きながら、いつ災害が起きてもいいような取組を進めているところです。災害ボランティアセンターを立ち上げるにしても、地域の皆さんと顔が繋がっていないと、災害ボランティアセンターの意味も分かっていただけないというのが現状かなと西区を見ながら思っているところです。これからも地域の皆さんと横のつながりをつくりながら、社会福祉協議会としてもいろんな形で地域とつながりをつくりながら進めていきたいと思っておりますので、これからもよろしく願いいたします。以上、本日の挨拶とさせていただきます。

(中島会長)

坂井委員、ありがとうございました。被災地の復旧、復興の活動については長引くことが予想されます。ありがとうございました。

それでは、会議に先立ちまして、能登半島地震の新潟市の状況について報告がございました。鈴木地域総務課長補佐、お願いします。

(地域総務課長補佐)

皆さん、今年もどうぞよろしく願いいたします。残念ながら、新年のスタートとしてはおめでたいとは言えない年明けとなってしまいました。改めて、地震で被災された皆様には心よりお見舞いを申し上げます。

さて、秋葉区内の主な被害ですけれども、新津本町の商店街で店舗の外壁が落ちたり、石塀が倒れるという被害がありました。一方で、住宅では主に市之瀬地区で多くの被害が出ておりまして、屋根瓦の落下やブロック塀の倒壊といった被害がありました。

本日お配りした「新潟市災害対策本部からの大切なお知らせ」のチラシですが、秋葉区内で被害の大きかった地域にはポスティングで配布をし、全地域には自治会回覧で内容の周知を行ったところです。

また、1月2日朝から滝谷地内で原油の混じった油水が噴出もしました。区では、周

辺への流出を防ぐために吸着マットで油の回収を行いながら、県は下流への流出防止を行うために、新津川に張ったオイルフェンスの量を増やす、あるいは、取替え作業を行うなど、共同して対策を講じました。1月4日に噴出は停止をしまして、秋葉区では監視をしながら、被害のあったお宅に吸着マットの貸与、そして油の処理費用を負担するなどといった支援を行いました。

本市では、被害の大きかった西区と江南区、そして中央区から重点的に震災対応を進めています。秋葉区からも西区や江南区に毎日職員を派遣しています。災害対策本部や家屋調査の業務、罹災証明書の発行、市営住宅への入居などの相談といったものに携わっています。一方で、秋葉区でもおよそ300件の罹災証明の申請がありまして、先々週の20日土曜日から家屋調査が始まっています。市内では、1万件を超える申請が出されているため、罹災証明の申請から家屋調査まで1か月近くかかっていますが、証明書の交付の準備ができた方から順番に郵便でご案内をしているところです。

明後日2月1日から、この秋葉区で区役所1階に被災者向けの総合相談窓口を開設するつもりで準備を進めています。罹災証明書の交付をはじめ、住宅の応急修理、生活再建に向けた支援金、貸付資金などの相談をワンストップで行います。区役所では、今ご案内が届いてから罹災証明書を取りに来ていただけるように周知に努めているところです。

まずは、しっかりと震災対応に取り組んで、被災された皆さんが一日も早く日常を取り戻せるよう頑張りたいと思っています。その後改めて区づくりに取り組みたいと思っていますので、今年も皆様から頂戴したご意見、アドバイスなどを参考にしながら区政に生かしていきたいというふうに思っています。

本日もどうぞよろしくお願いいたします。

(中島会長)

鈴木課長補佐、ありがとうございました。

2 報告

(1) 令和5年消防概況について

(中島会長)

次第に沿って進めさせていただきます。

「令和5年消防概況について」です。本日秋葉区消防署小林署長、市民安全課堀係長、地域防災課、笠原係長からご出席いただいております。

小林署長からご報告お願いできますか。

(秋葉消防署長)

皆様、こんにちは。秋葉消防署長の小林でございます。まずは、自治協議会の皆様におかれましては、常日頃消防行政にご理解、ご協力賜りまして誠にありがとうございます。本年も何とぞよろしくお願いいたします。

本日は、令和5年、昨年の消防概況がまとまりましたので、火災の概況、救急の概況について担当係長から説明させていただきたいと思っております。本日の新潟日報の報道にもありましたが、火災件数については172件、救急については4万5,405件ということで、新潟市政令市移行後一番大きな数字となっております。背景には猛暑等々ありますが、その辺の内容を説明いたしますので、何とぞ本年も火災予防にご協力よろしくお願いいたします。

それでは、担当係長のほうから概要についてご説明いたします。

(秋葉消防署市民安全課予防調査係長)

秋葉消防署市民安全課予防調査係の堀と申します。よろしくお願いいたします。予防調査係は、火災の原因調査、火災予防の広報を担当している部署でございます。私のほうからは、昨年の火災の状況について説明したいと思っております。

お手元の令和5年の消防概況について、資料に沿って説明させていただきます。

「1秋葉区の災害(1)火災の状況」でございます。令和5年の秋葉区の火災件数は19件、前年の令和4年と比べまして7件の増加となりました。年間19件の火災は、新潟市では政令市移行後最多でしたが、秋葉区においても政令市移行後最多の件数となっております。また、出火率については、人口1万人当たりの出火件数というものになりますが、2.5、前年と比較しまして0.9の増加となっております。なお、火災の件数については19件と多かったです。火災による死者については昨年もおりませんでした。

次に、「出火原因」です。バッテリーや電気配線などの電気関係7件、次いで、たき火5件、たばこ2件と続いております。「その他」については落雷による火災、車の排気管からといったものがあります。この表には載せてありませんが、秋葉区で起きた19件の火災のうち8月に5件、1か月の間に5件の火災が発生しました。通常であればすぐ燃え広がらないような状況でも、8月は猛暑日が続く、雨もほとんど降っていないため、物が燃えると瞬く間に枯れ草に燃え移り、制御できずに燃え広がってしまったという状況で火災が発生しました。また、猛暑の影響で電気の部分に負荷がかかり、電気火災が立て続けに発生しました。これらの影響で、例年よりも火災の件数が増えたのではないかと考えております。

資料裏面(3)「過去10年の出火率及び火災件数(秋葉区)」をご覧ください。赤い

線が火災件数、青い点線が出火率になります。火災件数の中で、住宅から火が出た件数については、緑色の点線になります。火災件数については過去一番多い数字となっておりますが、住宅火災の件数につきましては平成 27 年、29 年、令和 4 年の 3 件と比べて 1 件多い 4 件ということで、住宅火災については例年に比べてそれほど多くはないというのが印象です。先ほど説明したとおり、夏場の暑さによって屋外での火事が増えたというのが昨年の大きな特徴と思っております。

「2 新潟市の災害」については、小林署長が説明したとおり、火災件数 172 件、救急件数 4 万 5,405 件と政令市移行後の最多件数となっております。救助件数 163 件については、令和 4 年と比べて 12 件の減少となっております。資料には載っていませんが、新潟市全体の火災原因は電気関係 38 件、全体の約 22%が電気関係の火災で、近年は電気関係の火災が増えている印象です。

また、「火の不始末による枯れ草からの火災に注意」というお知らせを入れさせていただきました。これから春先にかけて乾燥しますし、風の強い日もあるかと思えます。火の不始末による火災の発生のおそれがありますので、区民の皆様にご注意をいただこうと周知をしていきますので、ご協力をよろしくお願いいたします。

それでは、次に救急担当係長の笠原から説明させていただきます。

(秋葉消防署地域防災課地域防災係救急担当係長)

秋葉消防署地域防災課救急担当係長をしております笠原と申します。お手元の資料 1 「1 秋葉区の災害 (2) 救急・救助件数」についてご説明いたします。最初に、救急件数ですが、秋葉区管内の出動件数は 4,197 件、前年と比較して 248 件、約 5.9%増加となっております。事故種別としましては、急病が 2,982 件、71.1%、次いで一般負傷 580 件、13.8%、交通事故 170 件、4.1%、この 3 つの区分でほぼ 9 割を占めております。それ以外のものとして、その他 465 件、11%となります。病院から病院までの搬送、運動競技、労働災害などをその他としています。

救助件数については、秋葉区の出動件数は 18 件、前年と比較して 6 件の増加となっております。事故種別としましては、交通事故が最も多く 8 件、44.4%、水難事故が 2 件、11.2%、それ以外のものをその他としておりますが、8 件、44.4%となっております。その他について一例を挙げますと、機械による挟まれ事故、高所からの墜落事案が挙げられます。

裏面の資料を御覧ください。「(4) 過去 10 年の救急出動件数」について説明させていただきます。令和 5 年は 4,197 件の出動となっており、1 日平均すると 11.5 件出動している計算になります。分数に表すと、125 分に 1 回出動したことになり、秋葉区民が

約7万5,000人ですので、秋葉区民の約18人に1人が搬送されているという単純計算になります。

以上で消防概況の説明を終わらせていただきますが、救急に関してもチラシを1枚添付させていただきました。2枚目の裏面「突然のこんな症状のときにはすぐ119番！！」です。こうした症状が出た場合は緊急を要する場合がありますので、速やかに119番通報をお願いします。65歳以上の高齢者向けのチラシですが、これ以外にも成人用、また子供用のチラシもあり、総務省消防庁のホームページに公開されておりますので、ご興味のある方はそちらのほうもぜひ御覧になってください。また、「迷ったら『かかりつけ医』に相談しましょう！」とありますが、かかりつけのお医者さんやっていない場合は救急相談窓口#7119という番号がありますので、そちらをご相談ください。電話をしますと医師や看護師など専門の方がその状態を判断して、自宅で様子見てください、すぐ救急車を呼んでください、と説明をさせていただきますので、参考にしてください。

以上で説明を終わらせていただきますが、今後も自治会の皆様や消防団、防火連合会など関係機関と連携いたしまして、秋葉区の安心、安全を確保してまいりますので、ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

以上です。

(中島会長)

ありがとうございます。

ただいまの報告につきまして、ご質問等ありますか。

なければ、私から質問です。先ほど新潟市全体、また秋葉区も出火件数が増えている、しかも屋外の火事が増えているということで、気象変動による気温の上昇等が原因だと説明がありました。こうした傾向に対する防災対策はどんなことがあるのでしょうか。

(秋葉消防署市民安全課予防調査係長)

屋外で火を扱う場合、消火の準備をしてください、完全に消えるまでその場を離れないでください、風が強い日はやめてくださいというような指導を消防からさせていただいております。こうした内容についてはJAや大型店舗といったところに広報をさせていただきました。また、夏場に火災件数が多かったことから、屋外の焼却行為について、消防だけではなく、区役所等関係機関と連携しながら、9月頃パトロールを一緒に行いました。また、燃え広がらないようにコントロールする、火が消えるまで離れないという対策をとっていただければと思います。

(中島会長)

分かりました。ありがとうございます。ほかによろしいでしょうか。

(渡邊委員)

すみません。1つお伺いしていいですか。

(中島会長)

手が挙がりました。渡邊委員、お願いします。

(渡邊委員)

渡邊です。ご説明ありがとうございました。

資料1の裏面を拝見すると、19件のうち4件が住宅火災ということは、その差の15件は住宅外ということになりますが、この地域が特に火災が多く発生しがちであるというような特徴というのはございますでしょうか。

(秋葉消防署市民安全課予防調査係長)

住宅外火災には、燃え広がってしまったケース、逆に、通報はあったけれども、燃え広がらず、火災までは至らなかったというようなケースもありました。これらのエリアについては把握しておりまして、そういったところを中心に車両による広報で巡回するなど、エリアを絞った中で効果的な広報を進めております。

(渡邊委員)

ありがとうございます。ここは風の通り道だから火の使い方について気をつけなければいけないというのが、昔からその地域に住んでいた方はご存じだと思いますが、新規で来られた方はご存じないかもしれないので、何か共有できたらいいのかなと思いました。

(中島会長)

ほかにございますか。なければ、「令和5年消防概況について」を終わります。

(2) 令和6年度まちづくりパートナーシップ事業について

(中島会長)

次に「令和6年度まちづくりパートナーシップ事業について」、秋葉区地域総務課、鈴木課長補佐から報告をお願いいたします。

(地域総務課長補佐)

お手元の資料2「令和6年度まちづくりパートナーシップ事業」について説明をさせていただきます。

この事業は、5月の本会議でも説明をさせていただきましたが、今年度から始まった事業で、令和6年度も議会の予算議決を経た後、引き続き実施する予定のものです。行政課題の解決に向けて、区役所がテーマを設定し、広く事業主体から提案を募集して、

選定された取組に補助金を交付して事業実施を支援するというものです。補助金の内容については、令和5年度と変わらず、3年間で300万円という設定をしております。今年度については、「移住・定住の促進」というテーマで募集を行い、『『まちやど』の整備による移住・定住・関係人口の創出』という事業が採択されました。

令和6年度のテーマにつきましては、「関係人口の拡大・創出」といたしました。今後のスケジュールについては、4月から6月末まで事業提案を募集したいと考えています。これは、関係人口の拡大・創出が移住・定住の促進や、秋葉区への興味や愛着を創出し、その結果、地域コミュニティの活性化につながるという思いからこのテーマとさせていただいたところです。説明は以上です。お願いいたします。

(中島会長)

ありがとうございました。

ただいまの報告につきまして、ご質問等ありますか。募集期間が4月から6月末までとタイトなスケジュールになっております。特になければ、「令和6年度まちづくりパートナーシップ事業について」を終わります。

(3) 区自治協議会提案事業の事業評価について

(中島会長)

それでは、引き続きまして、(3)「区自治協議会提案事業の事業評価について」、秋葉区地域総務課鈴木課長補佐から説明をお願いします。

(地域総務課長補佐)

資料3「区自治協議会提案事業の事業評価について」を御覧ください。

区自治協議会提案事業の事業評価につきまして、市民協働課長から依頼がありましたので、さきに秋葉区自治協議会長宛てに対応をお願いしたところです。市民協働課からの依頼文書を掲載させていただきました。

この事業評価については、改善点などを来年度以降の提案事業に生かすということを目的として行うものです。自治協提案事業につきましては、事業の企画、実施、評価、改善の各過程で関係課と連携しながら主体的に取り組むということとなっています。自治協議会が自ら事業評価を行う必要がございます。今後各部会で事業評価を行って、3月の自治協議会で各部会長から提案事業の事業評価を報告していただき、その後区のホームページで事業評価書を公開する予定です。説明は以上です。

(中島会長)

ありがとうございました。

こちらにつきましては、3月の自治協議会で各部長から報告をしていただきますので、各部会で作成のスケジュールを設定していただき、作業を進めてください。

ただいまの説明について質問等ありますか。

なければ、「区自治協議会提案事業の事業評価について」を終わります。

(4) 令和5年度第2回区自治協議会会長会議について

(中島会長)

それでは(4)「令和5年度第2回区自治協議会会長会議について」、私から説明をさせていただきます。

資料4を御覧ください。2回目となります区自治協議会会長会議が1月23日に開催されまして、出席をいたしました。今回のテーマが、令和6年度、来年度の全体委員研修会についてでした。開催案が出ております。会場はこれから調整ですが、日程が5月7日から17日、午後に開催する予定で現在調整をしております。内容は、事例発表50分、分科会60分、全体共有30分とあります。会長会議では主に分科会のテーマについて検討をいたしました。来年度は事例発表、分科会、全体共有という構成になっております。

資料2ページ目を御覧ください。会長会議では検討事項が4つありまして、結果的に全てこの選択肢のうち2になりました。また、方法を再度事務局で調整することになりました。昨年度の反省を踏まえて、会長たちからは去年意見交換が中途半端に終わった、消化不良感があったということで、来年度はもう少し時間を延ばしてもよいのではないかという発言がございました。また、テーマを多く設定するよりも、今年は新潟地震から60年で、中越地震から20年という節目の年です。また元日に能登半島地震があり、新潟市も被災地となりました。そうしたことで、防災をメインテーマにしてはどうかといった意見が出ました。現時点では防災をテーマにして、各部会の発表や議論がなされるような形で実施されていく予定です。

その後、各区の自治協議会の広報紙を見ながら、今年度行った各区自治協議会提案事業について情報共有が行われました。秋葉区からは、コミュニティ未来ビジョンの策定についてお話をさせていただきました。

会長会議の後に予定されていましたが中原市長と自治協会長の懇親会は、能登半島地震による被害状況や災害対策業務の現状を踏まえて、今回は中止となりました。

以上が私からの報告でございます。

何か質問等、ご発言ございますでしょうか。よろしいでしょうか。

特になければ、「令和5年度第2回区自治協議会会長会議について」を終わります。

(5) 部会活動報告

(中島会長)

それでは、各部会からの活動報告に入ります。第1部会、第2部会、第3部会、広報部会、ひな・お宝めぐり部会、コミュニティ未来ビジョン部会の順番で報告をお願いいたします。時間の都合がございますので、ご質問、ご意見等は全ての部会からの報告が終わってからとさせていただきます。

それでは、第1部会、加納部会長、報告をお願いいたします。

(加納委員)

第1部会の加納です。第1部会のきらめきサポートプロジェクトは、5つ採択されたうち、これから実施する事業が3件残っております。

1つは、2月3日土曜開催の新大生が企画した秋葉区チョイ戦です。参加人数に余裕がありますので、お知り合いの方いらっしゃいましたらぜひ声がけをお願いします。

2つ目は、秋葉区周辺案内図です。場所は決まっております、あとは設置判断のところまで進んでおります。

最後は、3月10日日曜開催のアキハファミリーショーです。本日チラシを配布しました。中身が濃い内容ですので、ぜひお近くのお子さんをお持ちの方にお声がけください。大人が行っても楽しめます。今日欠席の田中委員は、シンガーソングライターTAMIさんで活動していて、このファミリーショーに参加します。ショーでは自治協議会の宣伝もしましよと打合せをしています。若いお母さん、お父さんがいらっしゃる場でPRしていこうと思っています。こんな活動をやっていますという写真をスポット的にスクリーンに映しますので、後で部会の様子を撮影させていただければと思います。よろしくをお願いいたします。また、当日のスタッフが第1部会だけでは人数が足りません。皆さんの中でお手伝いいただける方、ぜひポロシャツを着用してご参加ください。よろしくをお願いいたします。

(中島会長)

ありがとうございます。3月10日のアキハファミリーショーは私も衣装を着て出演することになっています。ぜひ委員の皆様からも家族、仲間、友人にお声かけいただきまして、サポートスタッフとしてボランティアもご協力いただけるとありがたいです。よろしくをお願いいたします。

それでは、第2部会青木部会長、お願いいたします。

(青木委員)

第2部会の青木でございます。それでは、第2部会について報告させていただきます。

第2部会は、公共交通について取り組んでいます。現在、路線バス金津線について、都市交通政策課、金津コミュニティ協議会と一緒に改善策について検討しているところです。金津コミュニティ協議会では地域のニーズを把握するということで、去年の暮れ、金津中学校の生徒103名の保護者に対してアンケートを実施いたしました。アンケートの内容について第2部会からも意見を出してもらいました。金津コミュニティ協議会ではアンケートを回収し、分析、検討いたしまして、1月26日に第1回目の会議を金津コミュニティ協議会、秋葉区、泉観光バスと行いました。その結果、懸案していました事項が2つ解決できました。引き続きこの事業に取り組んでいく覚悟でございます。

以上で第2部会の報告を終わります。以上です。

(中島会長)

ありがとうございました。

引き続きまして、では第3部会、佐々木部会長、お願いいたします。

(佐々木委員)

第3部会の報告です。着座のままご報告させていただきます。

令和5年度の事業「A k i h a おとな大学」では「花とみどりの講演会『秋葉区は植物の宝庫～身近な植物を楽しもう～』」が1月14日に文化会館にて伊藤泰師さんを講師として開催されました。参加者100名、50代56%、60代24%、また、今回高校生の登壇者がいたことで10代7%と幅広い年代の方がお見えになりました。「身の回りの植物を見る目が変わった」、「新津高校のヒゴスミレ保全活動に感激した」などのご意見をアンケートでいただきました。93%の方が「大変満足」または「やや満足」と大変満足度の高い講演会となりました。今後開催してほしいイベントはトレッキング、歴史、石油という順番でして、講演を希望されていることが分かりました。今後の参考にしていきたいと考えております。

また、もち麦部門につきましては、PR活動として、おととい1月28日日曜日に健康センターで開催されました「にいがた秋葉っ子ふゆまつり」のステージイベントにおいて、自治協委員さんの皆さんとダンスを踊ることができました。熱気あふれる会場でしたので、PRになったこと間違いのないと思っております。また、秋葉区長からもご挨拶いただきまして、「子どものデパート」と褒めていただき、大変ありがたいと思いたしました。ご参加の皆様、日曜日にもかかわらずポロシャツを着用してPRしていただきまして、本当にありがとうございました。

第3部会の今後の動きですが、もち麦部門は2月14日金曜日1時30分より小須戸地区ふれあい会館調理室においてもち麦クッキング、パン作りを企画しております。既に参加者は満員御礼でして、着々と準備を進行しています。

トレッキング部門につきましては、今回の講演の発展として、気候のよい時期に伊藤講師のガイド付トレッキングを企画中でございます。

第3部会の報告は以上となります。

(中島会長)

ありがとうございました。

では続きまして、広報部会を森田部会長、お願いいたします。

(森田委員)

広報部の森田でございます。広報部会は、先日3回目の広報部会を開きました。かわら版「あきはくはつものがたり」第34号を3月17日に発行します。内容は各部会の提案事業について1年間振り返るという形で、各部会の委員に原稿を依頼しています。また今回載せる4コマ漫画は「防災」と「もち麦」という題材になりました。

広報部会ではこの「あきはくはつものがたり第34号」のスポットCMを流しますが、広報部会である中島会長と藤村委員に収録をお願いしました。

それから、ラジオ「あきはくはつものがたり」2月のラジオ出演者は、第2部会平田委員、第3部会木村委員のお2人です。よろしくお願いいたします。

最後に、広報部員によるレポートは、第3部会の「花とみどりの講演会」、「もち麦クッキング」を題材にして書き上げ、自治協議会のホームページにアップしたいと思っています。

(中島会長)

ありがとうございました。

続きまして、お宝めぐり部会の大貫部会長、お願いいたします。

(大貫委員)

今日皆さんの机の上に配付しました「ひな・お宝めぐり」のチラシを手にとっていただきたいのですが、「吊るし飾り」を作ってくださった参加団体が載っております。お宝めぐりというと、神社仏閣やおいしい食べ物をイメージすると思いますが、私はここに載っている参加者が全てお宝だと思っています。ぜひ皆さん、区バスに乗って巡っていただきたいと思っています。

今回災害に遭った避難所において、精神的な部分で子どもたちを支援している方がニュースに出ました。その方が「折り紙が本当に癒しになっている」と言っていました。

このたび関わって準備して下さった方もそういう思いを込めて、一つ一つ心を込めて作っていただいたと思います。区バスの車内には、ディンプルアイランドの子供たちが本当に心を込めて折ったメッセージつきの折り紙が入った「つるし飾り」が飾られます。ぜひ区バスでは手に取っていただいて見ていただきたいと思います。

また、エフエム新津を活用して 20 秒のスポットCMを制作しました。収録には、部会から吉川さんと稲月さんが参加してくださいました。本当に皆さん今までの職業において、フラットな関係で、皆さん協力してくださっています。事務局も一生懸命関わってくださっています。みんなでつくり上げている事業です。ぜひ皆さんも盛り上げていただきたいと思います。

(中島会長)

ありがとうございます。明後日からですね。みんなで盛り立てていきましょう。

それでは、コミュニティ未来ビジョン部会です。こちらは、会議の報告はないんですけれども、2月4日日曜日に未来ビジョン全体発表会が秋葉区文化会館を会場に、1時半から4時半まで開催されます。ご都合がつかましたら、ぜひ委員の皆様、ご出席いただき、その成果のほどを見ていただければと思っております。以上でございます。

それでは、ただいまの部会活動報告についてご発言でございますでしょうか。よろしいでしょうか。

なければ、「部会活動報告」を終わります。

3 その他

(中島会長)

次に「その他」でございます。委員の皆様から何かございますでしょうか。

では、村上委員がこのたびの能登半島地震で珠洲市に支援に行きました。そこで体験したこと、感じたことをぜひこの場で共有をしたいと思えます。

村上委員、お願いいたします。

(村上委員)

実際に行って感じたことやふだんのまちづくりとリンクすることなど、長くなるかもしれませんが、お話しできたらと思えます。

1月1日夕方、自宅におりまして、大きな揺れがありました。能登半島が震源地で、マグニチュード7を超えている。震度7はかなり大変だと直感いたしました。去年5月に珠洲市に技術系のボランティア団体で支援に行ってきました。6時間かかりました。珠洲市はもう来ることはないなと思って帰ってきたのですが、1月4日に物資を運ぼうと

ということになり取りあえずワゴン車2台で物資を積んで珠洲市に向かいました。順調に8時間ぐらいで着き、1時間ほど仮眠をして、被災地の小学校に1台物資を置いてきました。そこからは行けるところまで行ってみようということになり、海岸線を運転し、最後にたどり着いたのは珠洲市の市街地から25キロほど離れている集落でした。ここから先は、今自衛隊が歩いて物資を運んでいます。そして、人を今避難させようということまで行くことができました。

町場の小学校は200人以上の避難者がいました。車が通るところは物資が届くので、車が通らないところまで行ってみました。小さい集落が転々としておりましたが、食べ物は大丈夫だよと言われました。正月の餅や、物資も届いているからということでした。田舎の集落ですが、自分たちで木を切って、火をおこし、自炊をしている集落が多かった。そこで感じたことは、少し山奥に入った集落では、ふだんからの人と人との関わり、つながりがあるから、災害が起きても火をおこして集会所で炊き出しをしている。ふだんからのつながりが大切なんだなということを改めて被災地で感じました。小さい子もいました。2日前にヘリコプターが来て、15リットルの水を1つ置いていったような地域でした。でも、実際に行ってみて、雰囲気的には大きな小学校に避難している人たちよりも表情が明るく、気持ち的に大変な中であっても何か一生懸命されているなということを感じました。

こんな話を1月14日にあった山の手コミュニティ協議会の未来ビジョンの集まりでお話をしました。未来ビジョンを始めて、小学生、中学生、そしてそれに関わる大人たちがこうやって話し合うことでいろんなアクションプランが出てきて、今後これを進めていくことで人と人との関わりが増えて、これがいざというときに役立つときが来ると私は信じていますという、そんな話をさせていただきました。

皆さん方も報道で感じられていると思います。私が1月4日に行ったときは、その頃から石川県知事が被災地に行くと言えないからあまり被災地へ行かないでほしいという発信があり、その頃に私は新潟に帰ってきましたが13時間かかりました。珠洲市から穴水というまちに出る道と輪島から穴水、その1本の道でしか輪島にも珠洲市にも行けない。その分岐までほんの12キロぐらいでしたが、4時間かかりました。そんな中、緊急車両が土砂崩れの中、人を運んでいる。その状況を見たときに、人の力は必要だけれども、まずは人命救助だなということを感じて帰ってきました。

新潟に帰ってきてからは西区に出動してきました。災害救援ひのきしん隊とDR T新潟というチームと一緒に、技術系のボランティアで入りました。一般のボランティアと違うのは、機械を使って塀を壊したり、重機を持って行ってダンプに積んだりします。

例えば去年の珠洲市では、屋根の修理をしました。一般ボランティアではできないような活動をしているのが技術系のボランティアです。ボランティアセンターが困っている案件を、技術系のボランティアがもらって活動しております。

18日に珠洲市に行きました。それは、チーム中越というチームと一緒にトイレカーを運ぼうということになりました。現地では、トイレについて困っています。水道と下水は早くても半年以上かかると言われています。特に下水が流れないので、水が使えても、今お風呂に入ってもこの水どうしようということになります。トイレ、特に女性、子どもが大変困っています。仮設は和式トイレです。トイレがないところで生活をさせていただきました。新潟県内にあるレンタカー屋がトイレカーを造っているのです、荷台に載せて運んで、帰ってきました。要請があれば2月以降行くことになると思います。

一番感じたことは、今後正月を迎えると、被災された皆さんはこのことを必ず思い出す正月になると思います。その傷は決してなくならないと思っています。被災された方が私たちは少しでも早く、本当に大変だったけど、生きていてよかったなって思ってもらえるような日が来ることができるよう、現地へ行って、救援活動をさせていただきたいと思っていますし、現地へ行くだけが救援活動ではないと感じております。黙祷を捧げること、被災者を忘れないこと。そして、支援金などもすばらしい災害被災地へは大きな力になると思います。皆さんも既にされているかと思いますが、半年たつと被災地のことは忘れられます。この地震からの復興は長く続くと思います。だからこそ、被災者を忘れないこと。被災者を忘れないことが、被災しなかった私たちの大切な支援だと思っています。また、自分たちの地域においてどのように防災力を育てていくかが課題になったと改めて感じました。なかなか言いたいことを伝えるのは難しいのですが自分の目で見てきたこととお話ししました。くみとっていただけるとありがたいです。以上です。

(中島会長)

村上委員、ありがとうございました。まだ余震が激しく続く震災の直後に現地に入られたということで、被災地の様子、避難者の様子、また支援活動の状況等を非常に生々しくご報告いただきました。貴重なお話を本当にありがとうございます。

ただいまの報告についてご発言等ありますでしょうか。

それでは、佐々木委員の手が挙がりなので、お願いいたします。

(佐々木委員)

1月28日秋葉っ子ふゆまつりが開催され、無事終わりました。本当に皆さんに感謝申し上げます。コミュニティ協議会の皆様をはじめ、たくさんの皆さんからご協賛いた

いただきましたこと、そして福祉課をはじめとしまして、秋葉区長様にもおいでいただきまして、ブースも担当していただきました。本当に大盛況でして、3,000枚用意しておりましたグッズ袋もほぼなくなりました。500枚用意しておりました館内のスタンプラリーも30分以内に全部がなくなってしまいました。数を把握するのが難しい状況ですが、会場の中が満員で、来ていただいた皆さんにも大変ご不便をおかけしました。本当に盛大に行うことができましたことを感謝申し上げます。来年も行いたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

(中島会長)

本日配付されました「秋葉区発健康・自立のひと・まち・みらいフォーラム『次世代を育むまち』」、こちらのチラシについてご紹介がございます。

(健康福祉課長)

皆様、いつもお世話になっております。秋葉区健康福祉課の相馬と申します。

皆様のお手元に今お配りさせていただきました秋葉区発健康・自立のひと・まち・みらいフォーラムについてご紹介いたします。

こちらのフォーラムは、まちなか活性化実行委員会の健康部会で実施するもので、秋葉区文化会館、新潟薬科大学、新潟市、三者で実施をいたします。2月18日曜日午後から秋葉区文化会館ホールを会場に、講演を薬科大学の先生方からお話しいただきます。秋葉区は、血糖値が高いという健康課題がございましたので、今回はそちらをメインテーマとしております。休憩を挟みまして、パネルディスカッションは「秋葉区産もち麦の魅力」ということで、こちらにいらっしゃる皆様からパネルディスカッションをしていただきます。同時にロビーを会場に、矢代田小学校5、6年生の皆さんが考案しましたもち麦パン、もちドーナツなどを販売し、楽しい企画となっております。入場は無料ですが、事前に整理券が必要になりますので、整理券配付場でお求めいただき、当日大勢の皆様においでいただきたいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。

(中島会長)

ありがとうございました。ほかにございませんか。

なければ、私から1つお知らせがあります。本日配付された「令和5年度区自治協議会と市長懇談会のお知らせ」、こちらを御覧ください。市長の日程の関係で3月19日火曜日午後1時から開催となります。内容は、中原市長から新年度の主な取組について説明があり、その後それを基に意見交換が行われます。委員の皆様で当日意見交換をしたい事項、また質問などありましたら2月8日木曜日までに質問票を提出してください。メールで送りたい方もいらっしゃるかと思いますので、事務局から質問票の様式を後ほ

ど送らせていただきます。意見交換後、市長は退席しまして、その後きらめきサポートプロジェクトの報告を行います。

3月の自治協議会は2回あります。3月26日火曜日のみでしたけれども、市長との懇談会を開催するために19日も追加になったということでご了承ください。なお、26日は自治協議会提案事業の事業評価報告と、異動者等の挨拶を行います。皆様からのご出席をよろしくお願いいたします。

以上、私からのお知らせです。今のことで何か確認したいこと等ございますでしょうか。よろしいでしょうか。

なければ、これで議事を終了します。来月2月自治協議会の開会挨拶は第3部会の佐藤委員となっております。よろしくお願いいたします。

それでは、進行を事務局にお返しします。